

# こんにちは 松坂みち子 です



日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.356 2018.3.14 連絡先 402-1622 >

## 財務省 公文書改ざん事件 民主主義破壊の危機

日本共産党の小池書記局長は13日、国会内で記者会見し、「議会制民主主義の根底に関わる、日本の民主主義の土台を壊しかねない大問題だ。行政府が立法府を1年にわたって欺き続けた問題であり、真相解明、責任追及は与野党を超えた最優先課題だ」と述べました。

政府は佐川氏の答弁との整合性を取るためとしていることについて、「佐川氏は安倍首相の妻の昭恵氏のことはほとんど答弁していないのに、なぜ昭恵氏の名前を削除しなければならないのか」と指摘。さらに

右翼団体・日本会議についても削除されていたことをあげ、「『佐川氏の答弁との整合性』ということだけでは説明がつかない。これらは安倍首相の答弁や主張に関わる部分であり、改ざんのきっかけは安倍首相の答弁とのつじつまを合わせるためではないか」と述べました。また、「なぜ財務省の決裁文書に、昭恵氏の名前や日本会議の説明文が必要なのか」と述べ、森友学園への「特例的」扱いとの関係などを、引き続き追及したいと語りました。

(しんぶん赤旗3月14日付より)

## ひめだ高宏議員の一般質問

姫田市議は、道路や歩道、公園などの美化について質問。市民ボランティアの清掃や市の定期的な清掃、巡回によるゴミ回収、さらに市民の要望があれば対応する仕組みになっているとして「そういう仕組みが十分に働いているのか」とききました。市民環境局長は「ポイ捨て防止重点区域」の指定、テレビやラジオを使った啓発などの対策を報告しました。

また、高齢者らが無料で利用できた旧ほう

らい荘（市民憩いの家）が、中央卸売市場の建て替えに際し、その余剰地を利用し道の駅を作り、一角に旧ほうらい荘の機能を再生した新施設を作るというこれまでの議論を紹介。利用者に寄り添った新施設の設置、運営を求めました。市長は「国の補助メニューの施設設置主体は自治体ではなく民間業者による整備になる」と答弁。姫田市議は「どんな施設を作るのかの前に国の補助メニューに合う施設を作るというのは議論が逆立ちしている」と批判しました。

### みち子のひとりごと フクシマ

指示がなくても避難した親子が「自主避難」という言葉で区別され、存在を消されようとしている。さらに「語りにくさがある」「戻らないのが非国民」という雰囲気がある。この社会の怖さを感じました。



もを守りたい一心で避難したものが、事故後は20に引き上げられた。子どもを連れての帰還に踏み切れない方も多いのではないかと思います。

3・11から7年。福島県発表でもいまだに5万人もの人が避難生活を強いられています。昨年帰還困難区域以外の全自治体で避難指示が解除され、暮らしが始まっていますが、帰還率は平均15%、原発に近い町では3〜4%とか。7年もたてば、避難先での新しいつながりもできるでしょうし、何より「大丈夫」と言われても子どもを連れての帰還に踏み切れない方も多いのではないかと思います。

## 中村あさと議員の一般質問

中村市議は、子どもを連れた里帰り出産などで自分の住んでいる自治体とは別の自治体の保育園に子どもを預ける広域保育について、せめて待機児童のいない保育園での実施を要求。福祉局長は「現時点では難しい」としました。また、望まれている延長保育の無償化について福祉局長は「受益者負担の観点から考えていない」としました。

中村市議は、配偶者の暴力（DV）に対応するため、配偶者暴力支援センターの設置を要求するとともに、被害者が市や県の機関、複数の窓口で何度も同じ話をしなければならない現状を負担に感じているし、加害者との遭遇を一番気にかけていると指摘し、迅速に手続きできる体制を求めました。市民環境局長は、センターの設置を考えていないと答弁。迅速な体制についても、現行のDV被害者への支援の説明にとどまりました。

こんにちは

井本ゆい子です



3月10日は東京大空襲があった日です。先週の赤旗日曜版に「赤ちゃん（ママ）の火の夜」という絵本が紹介されていました。生まれたばかりの赤ちゃんと母親はまだ病院にいて、東京大空襲に遭いました。医師と看護師に助けられて、猛火の中をなんとか避難できたのですが、家に残してきた12人の子もたちと、夫は亡

なくなっていました。こんな悪夢のような出来事が本当にあったのですね。この母親の気持ちはなかなか想像できません。悪夢でも夢ならやがて覚めますが、この母親が現実を受け入れるまでいたいどれくらいかかったことでしょうか。

戦争は絶対にダメです。

# 署名大行動

戦争しないこの国は私たちの誇り  
みんなで動きましょう!!  
あなたも、あなたも、あなたも、あなたも、あなたも...

## 3/25日

午後1時～2時30分  
JR和歌山駅前

大きくアピールしながら、元氣よく署名を取りたいと思います。必要なグッズはすべて用意しています。体一つでお越し下さい。30分だけの参加でも構いません。みんなで動きましょう!!

**アクションニュース 広がる呼びかけ人**

和歌山市民アクションでは、1000人を目指し呼びかけ人を募っていますが、3月10日現在で900人になっています。一部ご紹介いたします。

■武内正次（徳島新聞社社長兼務）	■山崎由可里（和歌山大学教授）
■宇治田真寛（高松市住職）	■上甲ひとみ（お話の会館りの森）
■松坂栄知子（市議会議員）	■藤 康樹（医師）

また、■憲法9条を守る和歌山弁護士会の会 が呼びかけ団体として参加を表明してくれました。

**3/24土**  
午後3時30分～4時30分  
JR和歌山駅周辺

総がかり実行委員会が呼びかける、3月24日の署名大行動も、みんなの力を合わせて成功させましょう。

**安倍9条改憲NO! 「3000万署名」和歌山市民アクション**  
事務局／和歌山市湊通り丁南1丁目1-3 名城ビル2F 和歌山地区管内

相談、困りごと、お問合せはお気軽に  
生活相談所  
402・1622（平日午前中）  
松坂携帯  
090・1702・7310

